



氏名 菅井 誠
 学校名 札幌市立北野中学校
 学年 第2学年(135人)
 実施教科(領域) 社会(地理)

関連するSDGs



【実施概要】

1. 単元名(活動名) : 近くて知らない国モンゴルのお話


2. 単元の目標(評価規準を意識して設定) :

モンゴルの都市化にともなう「光と影(利点と課題)」を多面的に理解する。その上で、課題解決にはどのような主体(政治・市民・国際協力など)が関わる必要があるかを考え、解決策を提案できる。

3. 単元の評価規準	①知識及び技能	モンゴルの近代化の課題を具体的に述べたり、記述できる。
	②思考力、判断力、表現力	複数の立場(政治・市民・国際協力など)からの解決策を比較し、自分の意見をまとめられる。
	③主体的に学習に取り組む態度	課題を自分事として捉え、多様な立場の人々の協力の必要性に気づこうとしている。
4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】</p> <p>本単元は、日本に比較的近いがあまり知られていない国であるモンゴルを題材とし、都市化によって生じる利点と課題を多面的に理解することをねらいとしている。</p> <p>研修を通じて、近年のモンゴルは急速に発展する一方で、大気汚染や格差、環境問題など「都市化の闇」ともいえる課題を抱えていることを知った。それらを取り上げることは、生徒が持続可能な社会の構築に向けて主体的に考える契機となり、これまで学習してきた日本地理の知識を生かすことができる。さらに、ロールプレイを通じて多様な立場からの視点を学ぶことで、社会的事象を多面的・多角的に考察し、解決に向けた協働のあり方を考える態度を育成することができる。</p> <p>【単元の意義】</p> <p>これまで生徒たちは地理において日本の発展を学んできた。本単元では、日本的な視点からモンゴルの都市化を見つめると同時に、カードゲームを通してモンゴルの人々が抱える不安や希望といった感情を理解することができる。こうした学びを通じて、生徒は「他国の視点」を取り入れながら日本社会を捉え直し、自国を多角的に考える機会とすることができる。</p> <p>【児童/生徒観】</p> <p>本学年(中学2年生)は135名で構成されている。学級替え当初の4月は互いに遠慮がちでシャイな一面も見られたが、6月の宿泊学習や陸上記録会を通じて交流が深まり、授業でも活発に協働できるようになった。一方で、地理に苦手意識をもつ生徒も少なくないため、指導にあたっては身近な事例や視覚的資料を積極的に活用するなどの工夫が求められる。また生徒たちはこれまでに国際理解教育や開発教育について受けた経験がほぼない。</p>	

	<p>【指導観】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元では、日本で身近なコンビニを導入に用い、モンゴルの韓国系コンビニ「CU」を扱うことで異文化への関心を喚起する(1時間目)。その後、ウランバートルの急激な都市化の光と影をロールプレイで疑似体験させ、人々の不安や希望といった感情を理解させる。指導にあたっては、身近な事例や資料を活用しつつ協働的な学習を促し、社会的事象を多面的・多角的に考察し、持続可能な社会の形成に主体的に参画する態度を育成する。(2時間目)
--	---

5. 単元計画 (全 2 時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルの位置、気候、政治体制、使用言語などの基礎的事項を理解し、生活への関心を高める。 ・ウランバートルにもコンビニがあることを知り、未知の国を身近に感じさせる。 ・モンゴルのコンビニ商品に外国製品が多い理由を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Quizizz (オンラインゲーム) を通じてモンゴルの基礎知識を習得するとともに、興味を喚起する。 ・日本のコンビニでの買い物経験と比較しながらモンゴルの流通の特徴や外国製品の多さに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google スライド ・現地で撮影した写真 ・動画・紙幣など
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウランバートルの急激な都市化に伴う利点と課題を理解し、ロールプレイを通じてその功罪を体験的に学ばせる。 ・日本では体験できない都市化の現実を「自分事」として捉え、課題解決の方策を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウランバートルの様子を示す写真・動画やカードを基に、登場人物を演じるロールプレイを行い、都市化の利点と課題を体験的に理解する。 ・ロールプレイで得た気づきを整理し、グループで近代化の歪みを克服する解決策を話し合い、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google スライド ・現地で撮影した写真・動画・紙幣など ・ロールプレイ用カード

6. 本時の展開 (2 / 2)			
本時のねらい： ウランバートルに住む人々を演じるロールプレイを通して、都市化の進展の中で現地の人々が抱く不安や希望といった感情を理解する。また、自らの考えを他者の役割との対話を通して見直し、気づきを共有することで、社会的事象を多面的・多角的に捉えようとする態度を養う。			
過程時間	教師の働きかけ ◎発問 ・予想される生徒の発言や考え	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	<p><u>モンゴルに関する2回目の授業であることを述べる。簡単に前回の内容を振り返る</u></p>	<p>机を移動し4人一組の状態にしておく。</p>	<p>モンゴルで撮影した都市化に関する動画や画像など</p>
展開 ① (20分)	<p><u>本日の活動について伝える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームをすること ○グループ分けを確認する <p><u>ロールプレイを行う</u></p> <p>○以下の流れでロールプレイの説明を行い、ゲームを始める。</p> <p>①登場キャラクターの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルの政治家ウフナーギーン ・超優秀男子高校生アナンド ・貧困地区の少女サランゲル ・都会暮らしを嫌った農業者バスカ 	<p>前回のモンゴルについての知識を簡単に振り返る。</p> <p>Google スライドを用いて、視覚的にわかりやすく伝える。</p>	<p>・登場人物カード (指導案 ページ参照)</p> 

<p>展開 ② (15分)</p>	<p>②ルールを伝える ・活動指示 「これからモンゴル・クラフトというゲームを行います。」</p> <p>③ゲームの目標を伝える 「参加者で協力をしながら、良い社会を求めつつ、お金をできるだけ多く稼いでください。最後にお金をどれくらい持っているか数えます。またバイル指数（幸福度）がどれくらい貯まったかも数えてもらいます。したがって選択したバイル指数をワークシートに鉛筆で塗ってください。」</p> <p>④役を与え、自分たちで決めてもらう</p> <p>⑤ゲーム開始</p> <p>⑥ゲーム終了</p> <p>○ゲーム終了時にグループ内でのトータルの所持金と、バイル指数（幸福度）を教えてください。</p> <p>◎「ゲームを通して、どのような気持ちになりましたか？グループでその気持ちを共有してください。」</p> <p><u>(モンゴルの政治家ウフナーギーンを演じた生徒)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治家はお金がよく集まると思った。 ・他のプレイヤー（サランゲル）がかわいそうに見えた。 ・外交は大切で国力を上げるためには都市化は仕方ない。 <p><u>(男子高校生アナンドを演じた生徒)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言うだけで何もやらない気がする？ ・発言がたくさんできた。 ・伝統より現代的な価値観を大切にしよう。 <p><u>(貧困地区の少女サランゲルを演じた生徒)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、自分のターンが来てもお金が必要でかわいそう。 ・都市に来たのに何も得してないと思う。 ・遊牧民の方がいいのでは？ <p><u>(都会暮らしを嫌った農業者バスカを演じた生徒)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨降らないのに良く農業始めたと思う。 ・都会暮らしをやめたから自由な人だと思った。 ・天気に左右される職業のため収入が安定しないのでは？ ・結構、国のために頑張っていると思う。 <p>○各役割から1名ずつ、ゲーム後の気持ち+何がそう感じたのかを聞く。</p> <p>○「それぞれの役になりきるのをやめて、自分自身の世界に戻って来てください。」</p>	<p>③目標を伝えたとときにゲームの過程は役割に没頭するように促す。</p> <p>④教員から役割解除を指示するまでその役を演じてもらうように伝える。</p> <p>⑤カードデッキが無くなったら終了。もしくは15分でTV画面に提示しておき時間がきたら終了。</p> <p>ここは時間の残り具合で調整をする。役割の感情を表現させるため、特に質問等せず、教員は傾聴するのみ。</p>	 <p>モンゴル・クラフト～協力して良い社会を作ろう！～</p> <p>目標： ①お金を集めつつ、登場のキャラクターたちで協力しよう！（デッキがなくなるまで） ②バイル指数（モンゴル語で幸福度）をなるべく高くなるように目指そう</p> <p>・ワークシート</p>  <p>座り方のイメージ図</p>  <p>では、やってみましょう</p> <p>注意！先生が指示するまでは、その登場人物でいてください！</p>  <p>ゲームを通して、どのような気持ちになりましたか？ (登場人物として、他プレイヤーや全体として持った感想)</p> <p>グループでその気持ちを共有してください。</p> <p>・カードゲーム (6～7セット)</p> <p>今から役割を解き、いつも通りの自分に戻ってください</p> <p>班ごとにロールプレイで直面した都市化の問題（黄色）について一つ選び、「日本人」（いつもの自分）として解決策を話し合います</p>
---------------------------	--	---	---

<p>まとめ (10分)</p>	<p>◎「班ごとにロールプレイで直面した都市化の問題（黄色）について一つ選び、日本人として解決策を話し合しましょう。」</p> <p><u>(生徒の意見の予想)</u></p> <p>交通渋滞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を増やす（日本の地理で既習） ・地下鉄の設置 <p>大気汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石炭をやめて再生可能エネルギーを使う ・日本の高度成長時代にやっていた排煙処理技術の導入をする（近畿地方で既習） <p>かんばつ、ゾド※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・讃岐(さぬき)平野のため池を導入（中国・四国地方で既習） ・節水する <p>学校の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が国民に携帯電話を渡して勉学のオンライン動画を提供する ・海外 NGO の寄付（経済支援）を募るなど <p>○2～3 グループから 1 人ずつ当てて、出た意見を全体に共有する。</p> <p>○「Google Form のアンサーに解決策を日本人として記載しなさい」</p>	<p>※ゾド…寒冷による家畜の体力消耗に加え、積雪や表土凍結により地表が覆われ牧草へのアクセスができなくなり、多くの家畜の命が奪われる自然災害</p>	<p>・クロームブック</p>
<p>7.評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>(1)オンラインフォームの記述を確認し、都市化の問題について具体的に記述されているかを評価する。</p> <p>(2)グループでの共有・発表を観察し、別の役割の生徒と立場が違うことも理解しながら協調し、解決策を提案しているか評価する。</p> <p>(3)ワークシートに、自分の生活や日本社会に引き寄せた具体的な考えが記述されているかを確認する。</p>			

【参考資料】

- 1 Tsogbadrakh D., Tsogbadrakh D.& Rawlins D. (Eds.). (2025). Authentic Mongolia: All you need to know about Mongolia: Then & Now (R. Oren, Photograph; O. Renchin, Contributor). Little Nomad Publishing.
- 2 湯本浩之・西岡 尚也・黛 京子（編）.(2024).SDGs 時代の地理教育：「地理総合」への開発教育からの提案（pp. 76–81）. 学文社
- 3 窪田新一（編著）.(2022).モンゴルはどこへ行く. 論創社
- 4 小長谷有紀・前川愛（2014）. 現代モンゴルを知るための 50 章 . 明石書店.
- 5 開発教育協会（編）. (2012). 開発教育実践ハンドブックー参加型学習で世界を感じる [改訂版] . (pp. 30–35) . 開発教育協会.

【自己評価】

苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ウランバートルの都市化のカードゲームのルール、カードの種類のコ案に1ヶ月ほどの時間を取られて苦勞した。 ・ロールプレイの中で、生徒がキャラクターになりきるための工夫。 ・お金を稼がせたり、幸福度の設定をしたりとゲームの軸が多くあり、生徒に負担をかけたこと。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の実践授業において、授業回数の設定が少なかった。本来だと3回あれば消化できる内容であった。 ・指導案にとらわれすぎて、生徒の意見を十分に拾い切ることができなかった。 ・カードの文字が小さく、読みにくかった。
成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・全2回のうちの1回目で、ウランバートルと札幌との比較でコンビニを導入したことは生徒たちにとってイメージしやすく、興味を引くことに寄与した。 ・様々な「社会」の結果が見られた。お金と幸福度が高い社会のグループがあれば、その逆の社会もあった。生徒になぜそうなったのか、他のグループにも意見を聞き、多様な社会があるという実際の社会とリンクしていることに気づくことができた。 ・指導案通り、生徒たちはこれまで学んできた地理の知識や自分たちの思考を生かしてモンゴルの都市化のデメリットについて解決策を述べたり、日本が辿ってきた高度成長のメリットを現在のモンゴルに重ねることができていた。
学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	<p>生徒たちは外国への興味を持ってくれたのか、モンゴルの遊牧民の生活について聞いてくれたり、私が行った外国歴や英語の勉強法(英検一級取得までの過程)について聞いてくれたりする生徒が増えました。また都市化のデメリットのリフレクションの際、頭をひねりながら解決策を考えてくれていた。</p>
授業者による自由記述	<p>まず4クラスとも全ての生徒が楽しく、「とてもためになった」と言ってくれたことが教師冥利に尽きる。5月にJICA海外派遣研修に申し込んだ時の見通しと結果が一致してとても嬉しかった。</p> <p>嬉しい誤算は、生徒たちが「多様な社会」を体現して、それに気づいてくれたこと。当初は、授業の地理で得た知識が外国のためになるかもしれないということを知ってほしいと作り上げた授業だった。カードゲームの結果はお金・幸福度ともに高い社会があれば、その逆もあった。「この幸福度が低く、お金が</p>

	<p>全然ない社会は本当にダメな社会なのだろうか？」という発問に、「民主主義は議論に時間をかけるため、意思決定が遅れているから経済成長が起きていないし、限られた経済的な恩恵も国民に行き渡ってないため幸福度も低いのでは？」という発言があった。普段の授業から議論をさせて思考を揺さぶることをしてきたことがこの発言につながったのかもしれない。</p>
<p>次年度以降の取組予定</p>	<p>今回は、日本地理（九州から北海道）の学習後にモンゴルを扱った。これは、中学生が学んだ地理の知識や考え方が、他国の現状理解や、将来的にその助けになるかもしれないという意義を知ってもらう目的があったからだ。しかし、通常はアジア州の学習で実践するのがよりスムーズな流れだと考えられる。次回は、生徒の外国への興味を喚起するという点に焦点を置き、中学1年生の世界地理分野で実施してみようと考えている。</p>

【登場人物カード】

モンゴルの政治家
ウフナーギーン (Ухнаагийн)

- ・モンゴルの政治家。
- ・モンゴル国立大学出身のエリート。
- ・民衆ウケが良く、モンゴル人民に響く演説をする。
- ・選挙が強く、常に議員をしている。
- ・国家のためと外交を頑張る。
- ・伝統的なモンゴル民族の意識も大切にしている。

特別ルール:
毎ターンの初めに「良い政策を皆さんのために必ず実施します。」と言ったら1000トゥグルクをゲット。



貧困地区の少女

サランゲル(Сарангэрэл)

- ・モンゴルの首都ウランバートルの貧困地区「ゲル地区」に住む女の子。(推定5歳?)
- ・幼い頃にウランバートル市に両親に連れられてきた。
- ・ゲル地区は楽しいこともあるが、基本的に学校にいけない。
- ・ある施設が運営する場所で同じ境遇の子達と遊んでいる。
- ・実はウランバートルよりかは地方の田舎での遊牧生活をしたい。



特別ルール:

毎ターン、1000トゥグルクを誰かから寄付を募らなくてはならない。寄付してもらえないとそのターンは飛ばされる。

超優秀高校生

アナンド(Ананад)

- ・新日本モンゴル学園の男子高校生。
- ・過去にモンゴル・地理オリンピック9位となる。
(1位との差は1点だったとか)
- ・社会問題に良い提言をしてくれる。
- ・歴史や地理が大好き。
- ・将来は日本に留学をしたい。
- ・8月に菅井先生が訪問した際にLINE交換をした。



特別ルール: 毎ターンの始めに、「何か解決策して欲しかったら私に言ってください」述べたら1,000トゥグルクをもらうことができる。

都会暮らしを嫌った農業者

バスカ(Баска)

- ・大都市ウランバートル出身。
- ・元々ダイナマイトを作る仕事についていた。
- ・時間に縛られること、そして大都市の大気汚染と交通渋滞が嫌で田舎で農業を始めた。
- ・農業は儲けられないがウランバートルにいるよりはまし。
- ・過去にアメリカや中国に留学経験あり。
- ・「何歳に見える?」と日本からの訪問者に聞いていた。



特別ルール: 毎ターンの始めに「野菜をモンゴルのために作る!」と宣言すれば、1,000トゥグルク獲得。

【都市化カード】

交通 バイル指数①★★★★★
②★★★



交通手段が車中心のため、常に大渋滞！
①政治家が5,000 MNT 支払う→道路設備が進み、渋滞が一時的に改善！
②政治家が支払わない→全員3,000MNT支払うこのカードをデッキに戻す（＝問題先送り）


環境 バイル指数①★★★★★
②★★★★



白い空気…深刻な大気汚染

冬には石炭を燃やして暖を取るための景色が真っ白！
①政治家が10,000MNT 支払う→全員ハッピーなため政治家以外は1,000MNTもらう
②政治家が支払わない→全員2,000MNT支払うこのカードをデッキに戻す（＝問題先送り）

環境 バイル指数①★★★★★
②★★★★



農業の天敵…かんばつ

ウランバートル市は2025年8月までに雨が降ったのは2回目。農業にとっては大ダメージ！
①農家のバスカは3,000 MNT支払う
②アナンドが一時的な解決策を言えとバスカは支払い回避。そしてこのカードをワールドに戻す

経済 バイル指数①★★★★★
②★★★★



足りない野菜

モンゴルは遊牧民だったので野菜は自国であまり作りいなかった。現在も多くは輸入が多い。
①政治家が外国と合意して輸入を推進→短期的に政治家や少女、高校生は変わらず来農採取が可能のため2,000MNTもらう
②農家以外の人がたて3,000MNT 農家に投資→バスカは3,000MNTもらう

社会 バイル指数①★★★★★
②★★★



日本モンゴル教育病院

日本の国際協力機関が無償で資金援助した病院。一般市民は医療知識が少なく来院するのが遅いと医者は嘆く。
①アナンドが現代医療を広めるためにアイデアを述べる→少女、農家は1,000MNTもらう
②伝統医療を尊重する→全員1,000MNTもらうこのカードをワールドに戻す（＝問題先送り）

経済 バイル指数①★★★★★
②★★★★★



モンゴルの上手な外交

大ロシアと中国に採られたモンゴル。フランスをとる外交が大切だが…
パラシスをとる外交が大切だが…
①政治家は留学や食べ物輸入、観光を推進→政治家は5,000MNT、高校生は3,000MNTもらう
②国内保護を優先する→農家、少女にとってメリットな政策のため2人は政治家から3,000MNTもらう

社会 バイル指数①★★★★★
②★★★★



ゲル（貧困）地区のトイレ

遊牧から大都市ウランバートルに移動してきた家族が多くいるゲル地区（貧困地区）
しかし住むために必要なトイレの整備が課題。
①政治家、高校生はゲル地区に寄付→アラウンゲルは4,000MNTもらう
②まずは都市の中心部の整備が必要のため政治家や高校生から少女に2,000MNTのみ寄付→デッキに戻す

社会 バイル指数①★★★★★
②★★★



都市部の住宅不足

遊牧民から大都市ウランバートルに移動してきた家族が多くさんいいるが住むための住宅が不足中。街中にはたくさん建ちあがった建物がある。
①政治家が住宅政策を推進→少女は住み場所が増えたことから政治家と高校生から4,000MNTもらう
②様子見→ただ政治家や高校生は影響があるため1,000MNTずつ支払い、カードをワールドに戻す

※MNT = (モンゴルトウグルク) の略

小・中学校の不足

社会
 パイル指数①★★★★★
 ②★★



大都市ウランバートルでは子どもは基本2部（朝・昼）交代で学校に通う。どうしても学校が足りない。
 ①政治家や高校生は学校建設のお金や提案をする
 →サラゲルは2人から5,000MNTもらう
 ②現職維持→遊牧の仕事や人手が足りたり、農家のバスカモ助かる。2人から5,000MNTもらう

鉱産資源の発掘

経済
 パイル指数①★★★★★
 ②★★★★



経済発展がすすむモンゴル。経済成長のために資源で
 ある鉱物を掘り起こしまくる！
 ①政治家が輸出政策をとる→政治家は6,000MNT
 もらう
 ②輸出政策は一旦保留→高校生、農家、少女は環境破壊の損害から救われたため、それぞれ政治家から2,000MNTもらええる

地方から都会への移住

経済
 パイル指数①★★★★★
 ②★★★★



社会主義の時代、自由移動は不可。1991年以降、自由になり、都市部へたくさん人が移動した。
 ①このまま推進→政治家は経済成長に貢献。10,000MNTもらう
 ②人の移動を制限→高校生、少女は過密から救われ農家は地方で人手確保できるため、政治家から2,000MNTずつもらええる

ゾド(Zud：厳しい寒さとかんばつ)

社会
 パイル指数①★★★★★
 ②★★★★



かんばつ+寒さによって冬、春に家畜が大群に死ぬ。
 ①税金から支援→政治家、高校生、少女はそれぞれ3,000MNT支払う
 ②農家が被害を避ける→農家のみ5,000MNT支払う
 ③としてカードを戻す

食の多様化（飲食物の輸入）

経済
 パイル指数①★★★★★
 ②★★★★★



政治家の政策の一つで、いろんな国から食べ物や飲み物が入ってくるようになった。
 ①このまま拡大→政治家、高校生はそれぞれ5,000MNTもらう
 ②政策を制限→農家は自分の商品が売れる・少女は安価な国内の食べ物が入るため3,000MNTもらう

旺仔牛奶(ワンザイミルク)



モンゴルに輸入されている中国製のミルク。かわいいう顔が目印で、モンゴルの子供からも人気らしい。味はとて甘い。
 1本80円。
 サラゲルは1,000MNT獲得

馬乳酒



アルコール度数：2～3%程度
 （ビールより低い）
 乳酸を発酵させたヨーグルトドリンクに近いが、独特の風味がある。
 モンゴルでは子供も飲む。
 全頁1,000MNT獲得

モンゴルの屋台メシ



ウランバートル市の野外にて購入可能。米は日本のより、少し硬いがまあ美味しい。きゅうりのつけものも少し青臭さが残るが日本人に合う。
 引いた人が1,000MNTを獲得

[モンゴルに関する学びのカード]

モンゴルの吉野家 マトン丼



モンゴル・ウランハートルの吉野家で、モンゴル限定メニューとしてマトン丼が提供されている。お茶は無料じゃない。引いた人は2,000MNT獲得

モンゴル人の伝統 移動式住宅ゲル



モンゴル人の伝統的なお家。ゲルの大きさは直径4.5〜6.5メートルほど。1つのゲルに、1つの家族が住む。サラングルは常に住んでいられるため安心して寝れる。観光資源としても貸し出すサービスも。サラングルは1,000MNT獲得

モンゴルの伝統的家畜「馬」



モンゴル人の人口より馬の数のほうが多いとされ、約300万頭以上。ウランハートル市の都市から少し離れたとたくさんみられる。サラングルは馬に乗ることができるため2,000MNT獲得

韓国発のコンビニCU (シーユー)



韓国コンビニCU。モンゴル商品以外に、韓国産・中国産・ロシア産の順番に商品が多い(菅井先生の感想)政治家、高校生はお世話になってるため1,000MNT獲得

ノミン・デパート



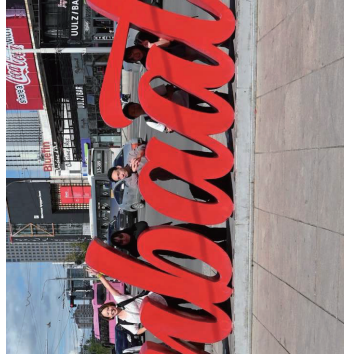
ほぼモンゴルでシェアを占めるため、モンゴル国民にとってはなくてはならないお店。都市化のおかげで政治家・高校生、農家も出荷先としてお世話になってるため3,000MNT獲得

菅井先生がかかった高山病



モンゴルは標高が高いで有名。すぐ小高い山があり、マンシヨン20階くらいである。ただいきなり高いところにダッシュで行くと強烈な頭痛が起きるため注意。引いた人は2,000MNT支払う

ヴィヴァン (某テレビ局のドラマ)



ある日本のテレビ局が数年前に放映していたドラマ。実は撮影場所はモンゴル。写真はその撮影場所。引いた人は1,000MNT獲得

社会主義



モンゴルはソ連(今のロシア)の次にできた社会主義の国。全ての人が平等になるよう目指した国の体制。1991年に資本主義(自由に経済活動ができる)に変わった。引いた人は1,000MNT獲得

菅井先生を閉じ込めたドア



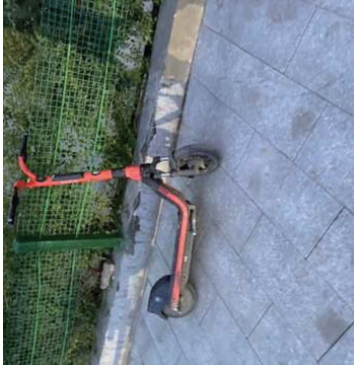
菅井先生が息に立ち寄ったレストランで
トイレに入った時に閉じ込められた写真。ロ
シアでも経験しており、社会主義を経験した
国にはあるらしい。
引いた人は1,000MNT支払う

モンゴル文字の伝統



現在のモンゴル語は1941年にロシア語のキ
リル文字から採用された。しかし今も伝統的
なモンゴル文字も積極的に勉強されている。
引いた人は2,000MNT獲得

スクーター



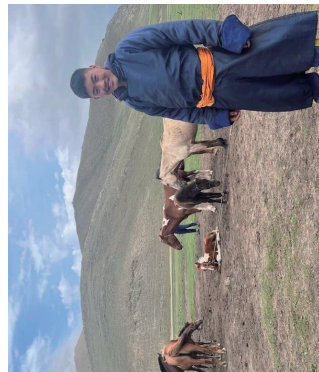
都市部で乗られているスクーター。便利だ
が、ある人は後ろからぶつかられることもあ
るらしい。いろんなところに置いてあった。
引いた人は1,000MNT獲得

馬糞 (ばふん)



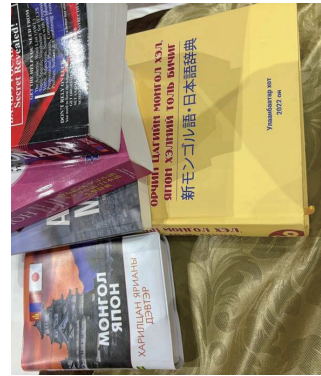
都市部から少し離れた場所に行くと家畜が
たくさんいる。下を見るとたくさん馬糞
が。土地の肥料やゲルの厩房にも使用され
ている。
引いた人は1,000MNT支払う

遊牧民



少し郊外に離れたら自然が広がる内陸国
モンゴル。
遊牧民は常に家畜と自然と暮らしている。
5歳くらいから乗馬ができてとか。
引いた人は1,000MNT獲得

モンゴル語の語学書



モンゴル人は昔から語学が得意。昔から文
字ではなく音で覚える慣習があるとか。
韓国語、英語、日本語、ロシア語が人気。
引いた人は1,000MNT獲得

ナーダム (遊び・祭りの意味)



7月に行われるモンゴルの建国を祝う国の
お祭り。モンゴル相撲、競馬、弓など3つ
のスポーツで争われる。
全員げんきになるため1,000MNT獲得

モンゴル日本人材開発センター



国際協力機関が無償援助でモンゴル国立大学
と設立した施設。日本語教育やビジネスコー
スで日本の文化の発信地。現地の生徒は日本
語も英語もかなり上手だった。
引いた人は1,000MNT獲得

【お助けカード】

韓国文化の流入



実は韓国がモンゴルでファッシュションやドラマ、お店などで人気。ゲル地区でもK-POPアイドルになりたい子が急増。K-POPの踊りを見せてくれた子もいた。少女は2,000MNT獲得

お助けカード 選挙権



政治家に対する国民の意思表示。引いた人は、自分に降りかかる支払いを無効化(支払い0円)にできる。他の人のターンでもこのカードを提示OKのため、持っておくこと。

お助けカード 資金援助



海外の団体から支援をもらうことができ。好きなタイミングに全てのメンバーに5,000MNTを支給

お助けカード 雨の恵み



乾燥した内陸国モンゴル。雨がまだ8月までに2回しか降ってなかったためみんな待ちに待っていた。バスカは5,000MNT獲得

お助けカード モンゴル人の新思考



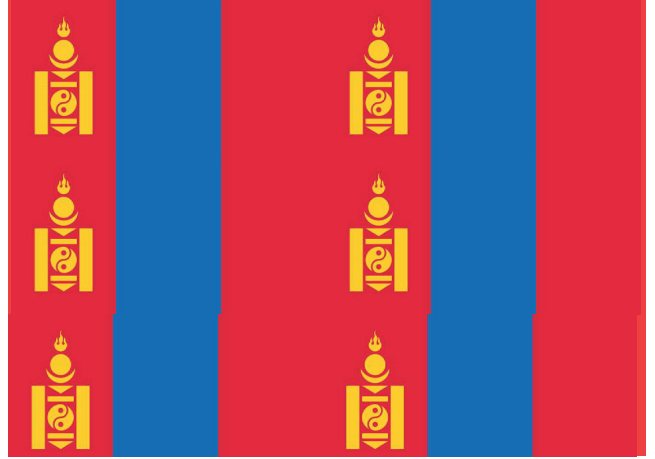
元は遊牧民であるモンゴル人は血縁関係を大切にしている。ただそこから自国民全体のために野菜を産出する農家のバスカはえらい。5,000MNT獲得

お助けカード 分散化政策








都市化の問題である過密。人口がたたくさんいるためにゴミ問題や交通渋滞が多発。高校生アナンドがこの解決策を言えば、全員が3,000MNT獲得

【カードの裏面】



[ワークシート]

<p>1  ウフナーギーン</p>	<p>お金</p>	<p>バイル指数 (幸福度) ゲットした分に色を塗ろう!</p> 
<p>2  アナンド</p>	<p>お金</p>	
<p>3  バスカ</p>	<p>お金</p>	
<p>4  サランゲル</p>	<p>お金</p>	

<p>お金の合計</p>	<p>バイル指数</p>
<p>MNT</p>	<p>個</p>

[進行スライド]



モンゴル授業②
2025/11/05

札幌市立北野中学校 曹井 誠



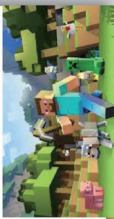
**本日の授業は引き続き
モンゴルについてやりま
す**

11月5日(水)

モンゴル・クラブフト～ 協力して良い社会を作ろう！～

目標:

- ①お金を集めつつ、登場のキャラクターたちで協力しよう！(デッキがなくなるまで)
- ②バイル指数(モンゴル語で幸福度)をなるべく高くなるように目指そう




カードの種類

黄色:都市化カード(より良い社会達成のための壁)

赤色:お助けカード
(引いたら手元にカードにおいて適切なタイミングで使用)


緑色:モンゴルに関する学びのカード
(基本的に登場人物にプラスになることが多い)



モンゴル・クラブフト～ 協力して良い社会を作ろう！～

ルール1:

- ・人数は4人
- ・ロールプレイの役割を選び、なりきってください(ジャンケンで順番を決める)
- ・最初は全員1,000トウグルク所持してください。



モンゴル・クラブフト～ 協力して良い社会を作ろう！～

ルール2:

- ・順番にデッキからカードを引いて、読み上げて、見せてください。
- ・選択肢①か②をみんなで考えて選べましょう
- ・お金の指示で、特定の人から出す場合は出してください。記載がない場合は余っているお金からとって OK

モンゴルの政治家
ウフナーギーン (Ухнаагийн)

- ・モンゴルの政治家
- ・モンゴル国立大学出身のエリート。
- ・民衆の声をよく聞き、国民に響く演説をする。
- ・選挙のたびに競争相手に勝利している。
- ・国家のためと外交を推進する。
- ・伝統的なモンゴル民族の意識も大切にしている。

特別ルール:
毎ターンの初めに「良い政策を皆さんのために必ず実施します。」と言ったら1000トウグルクをゲット。

1	ウフナーギーン	お金	バイル指数
2	アナンド	お金	バイル指数
3	バツカ	お金	MNT
4	ザラングル	お金	銀

お金の合計

バイル指数 (幸福度) ゲットした分には色を塗ろう！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

モンゴルの政治家
ウフナーギーン (Ухнаагийн)



特別ルール:
毎ターンの初めに「良い政策を皆さんのために必ず実施します。」と言ったら1000トウグルクをゲット。

超優秀高校生
アナンド (Ананд)

- ・新日本モンゴル学園の男子高校生。
- ・過去にモンゴル・地理オリンピックビッグ9位となる(1位との差は1点だったとか)
- ・社会問題に良い発言をしてくれる。
- ・歴史や地理が大好き。
- ・将来は日本に留学をしたい。
- ・8月に曹井先生が訪問した際にLINE交換をした。

特別ルール:
毎ターンの始めに、「何か解決策が欲しかったら私に言ってください。」と述べたら1,000トウグルクをもらおうことができる。



貧困地区の少女

サランゲル(Сарангэрэн)

- ・モンゴルの首都ウランバートルの貧困地区に住む「ゲル地区」に住む少女(14歳)
- ・若い頃にウランバートル市に両親に連れられてきた。
- ・ゲル地区は楽しいこともあるが、基本的に学校に行かない。
- ・ある施設が運営する場所と同じ種類の字遣と遊んでる。
- ・実はウランバートルよりかは地方の田舎での遊学生活をしたい。

特別ルール:
毎ターン、1,000トウグルクを誰かから寄付を募らなくてはならない。寄付してもらえないとそのターンは飛ばされる。

都会暮らしを嫌った農業者

バスカ (Баска)

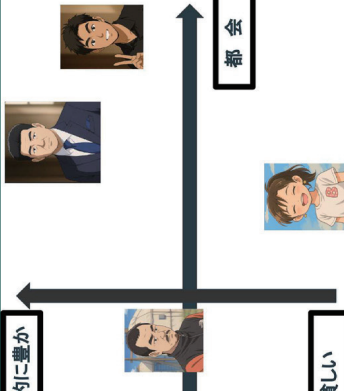
- ・大都市ウランバートル出身。
- ・元々タイサイトを作る仕事に就いていた。
- ・時間に縛られること、そして大都市の大気汚染と交通渋滞が嫌で田舎で農業を始めた。
- ・農業は続けられないがウランバートルにいるよりはまし。
- ・過去にアメリカや中国に留学経験あり。
- ・「何歳に見える？」と日本からの訪問者に聞いていた。

特別ルール: 毎ターンの始めに「野菜をモンゴルのために作る」と宣言すれば、1,000トウグルク獲得。

各登場人物のストーリー

田舎 ← 経済的に豊か ← 都会

← 負しい ← 都会



盛り方のイメージ図



では、やってみましょう

注意！ 先生が指示するまではその登場人物でいてくださいね！




ゲームを通して、どのような気持ちになりましたか？
(登場人物として、他プレイヤーや全体として持った感想)

グループでその気持ちを共有してください

今から役割を解き
いつも通りの自分に戻ってください

班ごとにロールプレイで直面した都市化の問題(黄色)について一つ選び、「日本人」(いつもの自分)として解決策を話し合います

今日の振り返り



菅井 誠 教諭

わたしの一枚



ノミンデパート

写真を撮った場所：ウランバートル市内

ウランバートル滞在中、私たちはノミンデパートを訪れた。ノミンデパートは、モンゴルの人々にとって生活に欠かせない大型デパートで、食料品、衣類、日用品、家電、文房具に至るまで、まさに「あらゆるものがそろう」場所である。店内は非常に整然としており、ウランバートルの中でもとりわけ近代的で洗練された空間が広がっていた。

私たちも、授業で使用する教材や日本へのお土産を購入するために立ち寄ったが、品ぞろえの豊富さには驚かされた。特に印象的だったのは書店コーナーで、日本語や英語の教科書や参考書、児童書などが充実しており、モンゴルの人々の学習や教育への関心の高さを感じることができた。ノミンデパートは、単なる買い物の場所というだけでなく、現代のモンゴルの暮らしや価値観を映し出す象徴的な空間でもあると感じた。

氏名：菅井 誠

学校名：札幌市立北野中学校